

資料 3-1

答申の取りまとめに向けた意見について

総合計画審議会（第1回、第2回）において、委員各位からいただいた意見を次のとおりまとめました。

【基本構想】

- 1 リニア中央新幹線の開通を見据えた首都機能の一部移転、モノづくり産業を支える素材・原材料（マテリアル）の研究開発拠点の整備など東濃地域の発展を中長期的に構想する必要がある。
- 2 まちの魅力を更に向上させるため、「多治見らしさ」をより一層伸ばし、内外へ積極的に発信していただきたい。
- 3 ひとの“わ”から連想される様々な分野における多世代間の連携を進め、「まるごと元気！多治見」を実現していただきたい。
- 4 消滅可能性都市を解消するため、明確な目標を掲げ人口増に向け取り組んでいただきたい。
- 5 総合計画を着実に実行実現するとともに、時代の変化に柔軟に対応した計画の見直しも行っていいただきたい。
- 6 まちの財産として人を育てるという視点のもとに行政運営を行っていいただきたい。
- 7 人にやさしいまちづくりを推進し、高齢者、障がい者、子ども、女性が暮らしやすいまちづくりに取り組んでいただきたい。
- 8 様々な分野における行政課題の解決に向け、近隣都市等との広域連携を推進し、東濃の中心都市としてのリーダーシップを発揮していただきたい。
- 9 市民ニーズの多様化に伴う課題への対応や、地域における問題解決に向け、市民やNPOとの連携を推進していただきたい。
- 10 子どもも大人も地域の多様な関わりの中で育ち合うことが大切であることから、地域におけるつながりを重視した取組を推進していただきたい。
- 11 子どもの権利に関する条例の理念に基づく取組を更に推進し、子どもが誇りを持てるまちづくりを進めていただきたい。

【基本計画】

- 1 子どもたちの輝く未来のため、子どもの貧困対策や、子育て、子育てに加え親育ちを支援できる地域社会の実現に向け取り組んでいただきたい。
- 2 中高一貫校の創設など教育環境ナンバー1に向けた取組を進めるとともに、互いの違いを認め合い、他の人と共に生きる力を育む教育を重視していただきたい。

- 3 美濃焼業界の海外展開への機運が高まっている中、海外で受け入れられる製品等の開発支援など、美濃焼業界の活性化に取り組んでいただきたい。
- 4 美濃焼や、それに育まれた食文化と様々な観光資源とを結び付けてPRし、観光客の増加を図るとともに、外国人観光客の受入れに取り組んでいただきたい。
- 5 駅周辺整備を進めるとともに、成功事例を参考にし、人が気軽に歩き、交流できるにぎわいのある商店街の活性化に取り組んでいただきたい。
- 6 企業誘致などを進め、若者が働きたくなる魅力ある職場の創出に努めていただきたい。
- 7 女性が働き続けられ、高齢者が活躍できる雇用環境の創設を事業者等へ働きかけるなど、男女ともに働きやすい社会の実現に向け取り組んでいただきたい。
- 8 郊外団地等と中心市街地とを結ぶ公共交通を充実し、買い物弱者対策を講じるとともに、郊外団地の活性化に向け若者の定住促進に取り組んでいただきたい。
- 9 渋滞対策に加え、防災対策や交通安全対策としての道路整備を計画的にかつ着実に推進していただきたい。
- 10 幼少期からの防災教育を進め、地域防災活動の向上に取り組んでいただきたい。
- 11 高齢者や障がい者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域における支援体制の構築や交流できる仕組みの創設に取り組んでいただきたい。

以上